

カール・マルクス著

労働者諸君!

『賃金、価格および利潤』を読もう

労働者として働く ↔ 資本主義の仕組み



講師:石川康宏 さん

(神戸女学院大学教授)

マルクスが『資本論』のエキスを紹介しながら、労働者と資本家の関係、賃金闘争や労働組合のたたかいの役割について語っているのが『賃金、価格および利潤』です。

労働者として働いているみなさんが、自分自身の立場と資本主義の仕組みを結びつけて考える力になる講演会です。ぜひ多くの方の参加をお待ちしています。

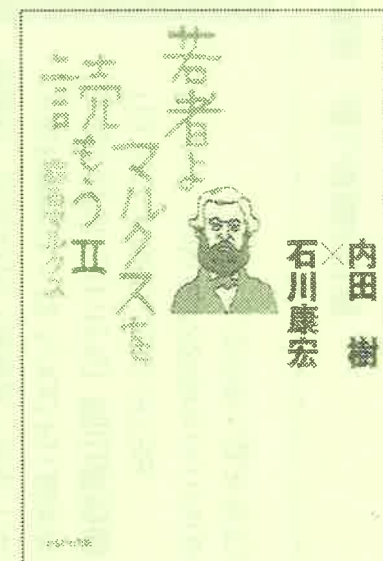
1/21 (水) 18:30~21:00

ところ:岡山市勤労者福祉センター4F大会議室

(岡山市北区春日町5-6)

内 容:講演後、質疑応答。

参加費:1,000 円 (障害者・学生 400 円)



石川康宏さんと内田樹さんの共著『若者よ、マルクスを読もうII』が2014年9月にかもがわ出版より出されました。その第三部で、『賃金、価格および利潤』が取り上げられています。予習にぜひご活用ください。